

# リアビューカメラ付パーキングセンサー PKGSS-01 取付け説明書

パーソナルCARパーツ(株) <http://www.p-c-p.co.jp>

## はじめに

本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、充分に気をつけて作業を行ってください。短絡(ショート)が発生させると最悪の場合、各種ECU(車に装着されているコンピュータ)が破損し走行不能に陥ることも予想されます。充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるところをお勧めします。取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールをください。

本機は、以下の機能を搭載しています。

1. リバース連動後映像表示及び障害物距離表示 ※表示には別途モニターに接続する必要があります。
2. リバース時の後方障害物接近時の電子警告音出力

それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

## 同梱品

本体ユニット、CCDカラーカメラ、センサー4個、ON/OFFスイッチ付スピーカー、ホールソー、カメラ用延長ケーブル、カメラ用電源ケーブル

## 免責事項

装着の着手を以って、以下についてご了解いただいたものとさせていただきます。

1. 本装置の装着は全て自己責任のもとで実施願います。
2. 本装置装着による結果、または装着過程において、どのような事態に陥っても当社に責は無いものとします。
3. 車種別専用装着資料を参照とした場合、その内容が実車と相違があっても、当社に責は無いものとします。

## 取付け準備

車体への取付けにあたり、以下の手順で事前準備を行ってください。

事前準備を行わないまま装着しますと、装置破損、車両故障に至る可能性がありますので、必ず事前準備を行ってください。

(1) 取付けに必要な配線を確認します。

- ボディーアース配線 : ボディー金属部に接続するか、ボディーアース配線から分岐します。
- リバース信号配線 : リバース時(バック時)に12Vとなる信号配線です。ナビ裏配線もしくはバックランプ配線から分岐できます。

(2) 配線の引きまわし方法とセンサー、CCDカメラ設置場所を確認します。

センサー4箇所、カメラ1箇所の穴あけ場所を決定し、ケーブルの室内への引きまわし方法を決定します。

※各センサーは30cm～40cm程度の間隔をあけて設置してください。

※各センサーは地面から50cm～80cm程度の高さに設置してください。

(3) 取付けに必要な工具を揃えます。

ペンチ、ニッパー、カッター、ドリル(付属ホールソー取付け可能なもの)、結線補助部品(ギボシ端子等)を必要に応じて準備します。

また、テスター、検電ペン等の信号確認用測定器は必ず必要ですので、近所のホームセンターなどで準備をお願いします。

## 取り付け手順

※実際の作業に移る前に、取り付け手順を最後までよくお読みいただき、事前に作業手順を理解される事をお勧めします。

※接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディーと接触するとショートします。

### ○ バッテリーマイナスターミナルの取り外し

以降の結線作業時にショート事故が発生する可能性がありますので、結線作業前にバッテリーマイナス側ターミナルをまずは外します。必要な結線作業が終了し、各配線を絶縁後マイナスターミナルはもとに戻します。

また、動作確認時はマイナスターミナルを必ずもとに戻してください。

バッテリーのマイナスターミナルを外すと、パワーウインドウ、ナビ、パワースライドドア等の初期化操作が必要となる場合がございます。必要に応じて、車両マニュアルをご覧ください、必要な操作をお願いします。

## ○ 4個のセンサーとCCDカメラをバンパーに取り付けます

センサー取付け予定場所に付属ホールソーを使用して穴を開けます。



穴あけ後、カッターなどでバリを削り取ります。



センサー、CCDカメラを押し込んで圧入取付けします。

※各センサーはA、B、C、Dのタグが付けられていて、車両に対して相対的な取り付け位置が決まっています。後方から車両バンパーを正面にみて ”左から順に A、B、C、D ” となるように取り付けて下さい。



## ○ 接続ハーネスの取り付け

配線図に従ってセンサー、CCDカメラ、スピーカを本体に接続します。

※各センサーは A、B、C、Dのタグのとおり に本体へ接続してください。

CCDカメラ用配線は右写真の様に、誘着テープなどで抜け防止、防水処理を施してください。

本体の display出力 を車両ナビ外部入力などに接続します。

接続後、ボディーアース、リバース時12V配線を車両配線に接続します。



## 動作確認

1. モニターの電源を入れ、本体からのビデオ出力が表示できるように設定します。 また、スピーカのスイッチを Hi または Lo 位置にします。
2. シフトポジションをリバース位置に変更します。
3. CCDカメラからの出力がモニターに表示されることを確認します。
4. 徐々にバックして、後方障害物との距離表示が変化することを確認します。
5. 距離が1.5m以下からスピーカより警告音がなり、距離が小さくなるにつれ警告音の間隔が短くなることを確認します。
6. 距離が0.3m以下で連続音となることを確認します。

## 配線図

